

# 郵便局でも販売された“心温まる”年賀状エピソード集「年賀状のちから」

## 電子書籍として読める iPhone・iPad・iPod touch 専用アプリとして登場!

### ～「Life-style 無料アプリカテゴリ」で 1 位を獲得した iPhone アプリの第 2 弾～

挨拶状印刷の専門サイト「挨拶状ドットコム」を運営する株式会社にっこ社(所在地：大阪市都島区、代表取締役社長：徳丸 博之、以下 にっこ社)は、郵便局としては異例の店頭販売となった書籍「年賀状のちから」の、電子書籍版である iPhone・iPad・iPod touch 専用アプリ『年賀状のちから』を 2011 年 1 月 13 日より提供開始いたしました。書籍「年賀状のちから」は、「年賀状思い出大賞」の企画として公募いただいた、年賀状についてのエピソード約 1,700 通の作品の中から 65 作品を厳選し 1 冊の本にまとめたものです。

## アプリ「年賀状のちから」について

アプリ『年賀状のちから』とは 2010 年 10 月に郵便局窓口・全国書店にて発売された書籍「年賀状のちから(1,000 円・税込)」のアプリ版です。リリースと同時に 4 万弱のダウンロードを記録し、2009 年 12 月 iPhone の「Life-style 無料アプリカテゴリ」にて 1 位を獲得した iPhone アプリの第 2 弾となります。電子書籍機能を搭載しており、コンテンツはすべて公募いただいた作品で構成されています。“年賀状を出す人の数だけ思い出がある”ということを、“受け取った人へのつながり”を改めて教えてくれるような心温まる話が満載です。



名称	：年賀状のちから
価格	：350 円
カテゴリ	：ブック
対応機種	：iPhone・iPad・iPod touch 互換 iOS 3.1.3 以降
評価	：4+(倫理的に好ましくない内容は一切含まれていません)
URL	： <a href="http://itunes.apple.com/jp/app/id405402237?mt=8">http://itunes.apple.com/jp/app/id405402237?mt=8</a>

### ＜作品例＞

「小学校を卒業して四年。不登校だった私を学校に来れるようにしてくれた先生に毎年送っている年賀状。私は先生が心配しないようにお毎回書く言葉があります。「毎日、学校が楽しいです。」毎回その言葉だけ書きます。先生もいつも同じ文を書いてくれます。「楽しい学校生活が 1 番」その言葉を見るとなんだか顔がほころびます。先生も私の言葉を見て笑顔で私の文を読んでくれているのかなと思います。先生はもう私が卒業した小学校にはいないので会うことはありません。しかし一年に一度の年賀状で同じ言葉を書き、同じ言葉が返ってくる。言葉はお互いに少ないけど、短い文の中にたくさん思いが詰まっているように思います。まるで二人だけの暗号のように思います。」

### 《会社概要》

商号	：株式会社にっこ社
代表取締役社長	：徳丸 博之
資本金	：2,000 万円
従業員数	：26 名(平成 22 年 5 月現在)
所在地	：〒534-0025 大阪市都島区片町 1-5-13-6F - 挨拶状／招待状の印刷専門サイトの運営 -

- ・「挨拶状ドットコム Designer's」<http://www.aisatsujo.jp>
- ・「挨拶状ドットコム／Professional」<http://www.aisatsujo.com>

### 《本件に関するお問い合わせはコチラまで》

株式会社にっこ社
担当者 運営企画部 中野
TEL :06-6242-0001
FAX :06-6242-0002
E-mail: <a href="mailto:info@nikkoprint.com">info@nikkoprint.com</a>

- ・「HAPPY SHOWER」<http://happy-shower.jp> 他
- ・「株式会社にっこ社」<http://www.nikkoprint.com>

## <補足資料>

### 書籍「年賀状のちから」について



書籍「年賀状のちから」は、にっこり社の企画「年賀状思い出大賞」の2008~2009年の2年間で寄せられた約1,700通の作品の中から65作品を厳選し1冊の本にまとめたものです。一枚のはがきに記された人の想いがそれを受け取った人の支えとなり、深く心に刻まれ続けていくものだということを一人でも多くの皆さんに伝えたい、との考えから発売されました。すべて公募いただいた作品で構成されています。本書は2010年10月に郵便局窓口・全国書店にて発売されました。郵便局としては異例の、店頭(近畿2府4県127局)書籍販売となりました。郵便局員の方からも、本来は郵便局が制作するべきものだ、とのお声をいただいたほど反響を呼びました。コンテンツは2010年10月に郵便局窓口・全国書店にて発売された書籍と同じ内容です。すべて公募いただいた作品で構成されており、年賀状を出す人の数だけ思い出があり、受け取った人のつながりを改めて教えてくれる心温まる話が満載です。

書籍「年賀状のちから」  
<http://nenga.aisatsujo.jp/npower/>

### 「年賀状思い出大賞」について



2010年で3回目となる「年賀状思い出大賞」は、“日本の文化である年賀状の良さをもっと分かち合えたら”という想いで、にっこり社が2008年より年賀状にまつわる思い出やエピソードをホームページと公募ガイドを通じてご応募いただく企画です。

「年賀状思い出大賞」  
<http://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>